

# 梅酒してふたりの地獄密閉す

野本 京

昭和五十八年四月結婚。「郁摩の怖じ惚れじやろ。三日と持たんろうねえ。もし三ヶ月持ったら続くかもしれん」と蒼生さんの言。青梅に針をさし二人で初めて漬けた梅酒の壇は、琥珀色を通りこした闇の色を湛えたまま、今も二人の地獄を密閉して存在している。

昭和五十八年作